

# ハイブリッドクラウドデータ管理

パブリッククラウド、SaaS、オンプレミスシステムのデータを統合、クレンジング、ガバナンス、マスター化、保護。

## 利点

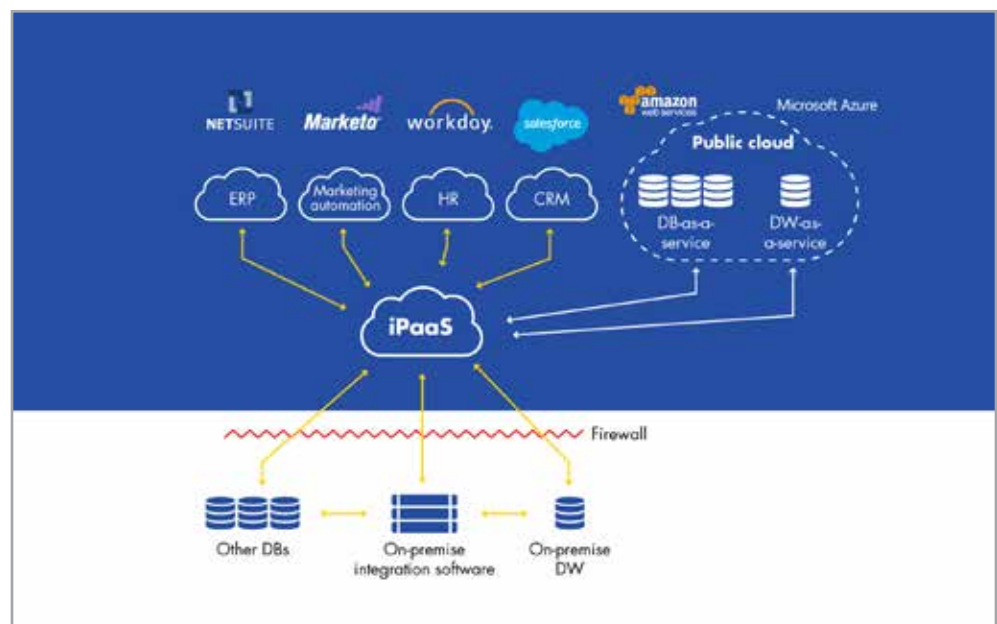
- Amazon Web ServicesやMicrosoft Azureなど、オンプレミスとクラウドのデータシステムに接続可能な、すぐに使い始められる数百ものネイティブ接続機能
- 拡張性に対応したパフォーマンスにより、ペタバイト（PB）単位のデータをオンデマンドで統合および管理
- データリネージによるデータの可視性により、生産性の向上、リスクの軽減、品質、ガバナンス、セキュリティ、マスター化を向上
- 運用データフローの単一ポイントの管理によるデータへの信頼性向上により、迅速な任務遂行を実現

企業の規模に関係なく、クラウドは企業の戦略的なイニシアチブです。ほとんどの企業では、数年前からクラウドへの移行を開始し、CRMなどのオンプレミスアプリケーションをSaaSベースのアプリケーションに移行しているでしょうが、これは単に始まりにすぎません。Amazon Web Services（AWS）やMicrosoft Azureなどのパブリッククラウドプラットフォームの登場により、企業は、パブリッククラウドにオフロードすることで、自社のデータセンターのフットプリントの大幅な削減を目指しています。

このようなパブリッククラウドへの大規模な移行の主要な要因は次の通りです。

- **クラウドの経済性**：初期投資の軽減、必要時に必要とするものだけに投資
- **クラウドの柔軟性**：高パフォーマンスで無限の拡張性、オンデマンドで容量を簡単に拡張および契約
- **クラウドの俊敏性**：新機能の迅速な導入、技術リソースを解放し、コモディティ化したインフラストラクチャの管理ではなくビジネスの差別化に集中

しかし、クラウドへの移行を成功させることは、複雑で時間のかかる取り組みであり、入念な計画、最適なロードマップ、ガイダンス、ツールが必要です。ほとんどの企業では、特定のワークロードが将来にわたりオンプレミスで維持されるため、企業はハイブリッドクラウドアーキテクチャに向けて進化し、その結果、ハイブリッドデータウェアハウジングやハイブリッドアプリケーション統合などのデータ管理が利用されます。



図：ハイブリッドデータウェアハウジングアーキテクチャ

# ハイブリッドクラウドデータ管理の課題

## インフォマティカについて

インフォマティカは、あらゆるモノを動かすデータの未来を変革するイノベーションに取り組む先進的な独立系ソフトウェアプロバイダーです。インフォマティカのソリューションによって世界中の企業が情報価値を高めることに成功し、ビジネスの最重要ニーズを満たしています。現在、5,800社を超える企業がインフォマティカを利用して、オンプレミスやクラウドのほか、ソーシャルネットワークを含むインターネット上の情報資産から最大限の価値を引き出すことに成功しています。

単一の顧客に関するデータがクラウドとオンプレミスの両方に存在する場合があります、このような環境を正常に管理するには、これらの主要な課題を解決する必要があります。

### 接続性

ハイブリッドクラウドアーキテクチャでは、SaaSアプリケーション、パブリッククラウドのデータサービスとアプリケーション、オンプレミスのデータシステムとアプリケーションなど、異なる場所にデータが存在するため、分散したデータサイロからビジネスインサイトを導き出し、業務上のエンドツーエンドのビジネスプロセスを管理するには、以下の機能を使用し、すべてのデータシステムに正常に接続する必要があります。

- 高パフォーマンスですぐに使い始められる、あらゆるデータシステムとのネイティブな接続機能
- 基盤となるシステムからロジックを分離し、再利用を可能にする抽象化レイヤー
- ファイアウォールの背後のシステムとクラウド間でデータを転送するためのセキュアな方法

### スケーラビリティ

データソースの種類や量が増加し、複雑になっていることはよく知られています。IoT、ブログ、ソーシャルメディアなどの新たなクラウドデータソースにより、環境内にデータが爆発的に増加しており、このような膨大なハイブリッドクラウドデータに対応するには、次のようなデータ管理ソリューションが必要です。

- 拡張時のパフォーマンスに対応できるように根本的に設計され、クラスタリングやプッシュダウン最適化など、基盤となるデータサービスの処理能力を活用する機能を提供
- 無限の容量のクラウドの柔軟性をサポートする、iPaaS（サービスとしての統合プラットフォーム）などのネイティブなクラウドソリューション

### データの可視性

データリネージ（データの履歴）は、環境内のデータフローの可視性の向上に不可欠です。ハイブリッドクラウド内の複雑なデータアーキテクチャを正常に管理するには、メタデータ主導のアーキテクチャに基づくデータ管理ソリューションが必要です。

- メタデータ主導の視覚的な設計により、クラウドとオンプレミス間のデータフローのインサイトを提供し、変更管理、リスク軽減、コード再利用を促進します。
- メタデータは、データ品質、ガバナンス、コンプライアンス、セキュリティ、マスター化のイニシアチブの基盤です。

### 業務管理

業務に求められるものは、適時性と信頼性の高い、連携したデータです。ハイブリッドクラウドデータ管理ソリューションにより、データへの信頼性を向上させて、以下のような分析とアプリケーションに必要なミッションクリティカルなデータを配信する必要があります。

- クラウドとオンプレミス間で運用データを移動するための単一ポイントの管理
- 運用データフローをエンドツーエンドで監視し、問題をフラグ付けして早期に解決する管理ツール

インフォマティカは、業界先進のデータ管理ソリューションを提供しています。このソリューションは、拡張に応じてパフォーマンスを発揮し、ハイブリッドクラウドデータ管理の課題を解決できるように設計されており、データシステムとアプリケーションに接続して生産性を向上し、すべてのデータの品質を高めることができます。

インフォマティカのソリューションにより、データの場所、統合パターン、ユーザーペルソナ、地理的位置に基づいて、統合ワークロードを最適化できます。オンプレミスとクラウド間で統合ワークロードを迅速に移動し、投資を保護して柔軟性を最大限に高めることができます。

インフォマティカのハイブリッドクラウドデータ管理ソリューションの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。

